一般質問 町の考えを問う

4人の議員が登壇

３月定例会では４人の議員が登壇しました。ここでは、質問と答弁を要約した内容を登壇順（質問順）にお知らせします。また、それぞれの議員のＱＲコードより一般質問の録画放送がご覧頂けます。

質問議員	質問事項	ページ
吉田（よしだ）　太郎（たろう）	◎町長の政治姿勢は	10
水谷（みずたに）　久美子（くみこ）	◎全児童生徒に学校給食無償化を ◎会計年度任用職員の処遇改善は 〇成年後見制度は	11
佐野（さの）　伸也（しんや）	◎令和７年度ふるさと納税は	12
大橋（おおはし）　みち子（こ）	◎高齢者が安心して暮らせる環境を	12

≪注≫〇印の内容は編集上掲載しておりません。

町長の政治姿勢は

町長 ６つの個別施策を展開

◆吉田（よしだ）　太郎（たろう）　議員

町民目線、現場主義を信条にスピード感と継続性を持ち町政の舵取り役として一期目の最終年を迎えた。

問　町長一期目の施策に対する進捗状況は。

答　現場主義、町民目線を信条に職員共々一丸となり、町政運営にあたってきた。町民生活の安心安全を維持し、経済の活性化による振興を第一に「人口減少対策」「交通アクセス、住民環境の改善」「産業振興」「誘客促進」「コロナ対策」「防災・減災対策」など、積極的に施策を実施し、「生まれ育ったまち養老のために」全力で取り組んできた。

問　町長選挙への考えと決意は。

答　安心して暮らせるまちを維持するために、町民の声に真摯に耳を傾け、誠実に向き合い、真剣に語り合うことで、持続可能なまちづくりへとつなげていきたい。養老の明日を拓くために町政二期目を粉骨砕身の覚悟で挑戦する。

養老町まちづくりビジョン

◆水谷（みずたに）久美子（くみこ）　議員

全児童生徒に学校給食無償化を

町長 今後の検討課題で取り組む

国は、新年度から小学校学校給食の助成制度（一人当たり月５２００円）を開始するが、私学や中学校などは、対象外である。

問　町長は、施政方針で「学校教育の費用負担をすべての子どもたちに充実させる」と表明した。しかし、町立校で登校している小学校児童だけではないか。

答　本制度は、学校給食費を公的に徴収している保護者負担を軽減するのが目的である。国との差額６００円は、町費で負担する。

問　中学校の完全無償化の見解は。

答　段階的に軽減を図るため、給食費の５割を町費負担し、保護者の負担額は、３３００円になり公約の方向性に沿うものである。

問　公費負担を私学や本町に在籍する多様な学びの全生徒（保護者）への予算措置を講じて頂きたい。

答　ご指摘の通り、同じ子育て世帯であり、負担軽減という観点から公平性を担保すべきと考える。情報収集し、今後の議論すべき課題としたい。

会計年度任用職員の処遇改善は

町長 正職員に近づけている

新年度から、会計年度任用職員の勤勉手当支給、常勤に準じた給与改定遡及適用、公募三年ルール撤廃など処遇改善が図られた。

問　毎月発行の広報養老「情報ボックス」のページには、「会計年度任用職員の募集」が掲載されている。多くの職種が子どもたちの命や生活の保障に関わる人的確保であり、保護者の不安が寄せられるが。

答　国の基準配置を満たしているが、職員の休憩・休暇の取得体制を維持するための募集である。

問　３月末の男女職員数とジェンダーギャップの環境整備は。

答　フルタイム職員男性４名・女性９名。パートタイム職員男性44名・女性２７２名。ジェンダーギャップは男女差のない募集と公正な採用を行う。

問　当町の場合、正規職員を補完する仕事、正規職員とほぼ同じ仕事、正規職員の指示を受けない専門性に携わる比率は。

答　免許や資格により専門知識を活かしながら、正職員と連携し責任感を持ち職務に当たっている。

ほかに「成年後見制度について」の質問もしました。

広報養老　情報ボックス